

Olbia ワークショップ体験記

ローマ建築視察編

2025/8/25 - 8/28

建築視察旅行の概要

私たちは2025年の8月と9月にイタリアのサルデーニャ島で行われたワークショップに参加しました。

ワークショップの1週間前から建築視察旅行を行い、この建築視察旅行には九州大学から学生6名と教員2名、チューター1名が参加し、ローマ、フィレンツェ、シエナの3都市をめぐりました。

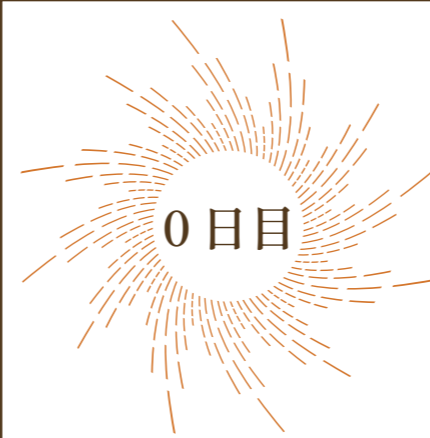
建築史を専門とされる堀先生と海外の建築に精通している藍谷先生のガイドの元、多くの学びを得ることができました。

ローマ建築視察

建築視察旅行期間の前半の3日間は、ローマの建築を見て回りました。

イタリアの昼は猛暑になるので、午前中に堀先生の建築視察、午後から日が沈むまでは休息をとりつつ自由行動、夕方からは藍谷先生のナイトウォークというスケジュールでした。

バチカンに3泊し、ローマの歴史的建造物をメインに巡りました。



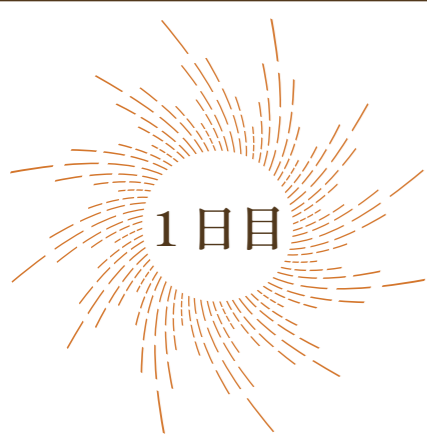
8/25 渡航

9:30 日本を出発

19:00 ローマに到着

夜に宿に到着し、みんなでピザを食べにいきました。イタリア初の本格ピザはとても大きく、長旅で疲れた体に染み渡り、イタリアに来たことを実感できた夕食でした。ローマでの建築視察の期間滞在したバチカンの宿からは、サン・ピエトロ大聖堂が見え、いつ見ても感動的な景色でした。





8/26 ローマ建築視察①

8:30 パンテオン

1日目の朝は、まずパンテオンを訪れました。ドームの中央に穴が空いており、授業で習ったように穴を開けても構造体が持つことを分かっていたローマ人の凄さを感じます。雨が降ると、この穴からの雨が光に照らされ、幻想的な風景になるそうで、雨が降っているときのパンテオンも見てみたいと思いました。



堀クイズ①

建築視察中、堀先生によるクイズが何度か出題されました。パンテオンの中で第一問です。

Q：格間（ごうま）・コッフアと呼ばれる上の写真の四角の窪みたちはなぜこうなっているのか？

A：普通に窪みをつけると、その中心が宙に浮いてしまうが、窪みの付け方をずらすことで、中にいる人がドームの中心にいるように感じる。

9:30 サンティエーヴォ・アッラ・サペエンツァ (ボッロミーニ) 外観のみ



街を歩いていると、特徴的な螺旋状の塔が見えてきました。六芒星の平面で有名なバロック建築の傑作です。建物の中には入ることができませんでしたが、授業で見ていた中庭を見ることができました。この中庭に入ると外にいるのに、包み込まれて

いるような不思議な感覚になりました。次来的时候にはぜひ中に入って、中と外を行き来する感覚を体験してみたいと思いました。また、堀先生のガイドによると、ローマの建築の特徴であるオーダーですが、それらが直交するその角の納まりに着目すると、建築家たちの葛藤を感じることがができます。それぞれの建築によって違うこの納まりに着目することで、より楽しく建築を見ることができるようになるのではないのでしょうか。

10:00 パラッツォ・マッシモ
(ペルッツィ) 外観のみ



次にパラッツォ・マッシモの外観を見ました。曲がった道に沿って立ち上がった曲面のファサードが特徴的です。ここで2問目の堀先生クイズが出題されました。

堀クイズ②

Q：ファサードの右端を少しの幅、余らせているのはなぜか？

A：向かいの直交する道から見たときに中心に見え、左右対象に見えるようにした。

10:30 パラッツォ・ファルネーゼ
(ミケランジェロ) 外観のみ



そこから数分歩くと、パラッツォ・ファルネーゼが出てきました。広場に正対し、周辺の建物よりも大きなボリュームで建つこの建物は、迫力がありました。ここでも堀先生クイズが出題されました。

堀クイズ③

Q：左下の写真のパラッツォ・ファルネーゼのファサードのすごいところは？

A：1層ごとの軒の出と全体で見たときの軒の出の比率を合わせることで部分と全体を調和している。

10:30 パラッツォ・カッファレッリ・ヴィドーニ
(ラファエロ)



それからまた少し歩くと次はパラッツォ・カッファレッリ・ヴィドーニが出てきました。二層構成の上に一層重ねたパラッツォです。これも授業で習ったものですが、授業で出てくるような建築がこれほどたくさん至近距離で街中に普通にあるということに驚き、ローマならではの体験だと感じました。

番外編 - 飲める水 -



ローマには、左の写真のような水が出ているところが街中の至る所がありました。飲める水なのか半信半疑でしたが、冷たい水なら問題なく飲めるそうで、暑い日中はこの水を汲みながら街を歩き回っていました。

11:00 ナヴォーナ広場・サンタ・マリア・デッラ・パーチェ
(コルトーナ)



その後ナヴォーナ広場に行きました。とても広い広場でここにはボッロミーニが設計したファサードを持つ教会とベルニーニによる彫刻があります。バロックの二大巨匠であるこの二人の作品が会するこの広場ですが、ベルニーニの彫刻は、ボッロミーニの教会が崩れてくるんじゃないかと言いたげです。

12:00 ブラマンテの回廊



次にブラマンテの回廊を見ました。中はイベント期間で花のアートに包まれていて、歴史的な建築の新しい利用のされ方を体験しました。ここでも角のオーダーの柱頭の納まりに着目すると写真のように健闘した形跡が見られ、面白いです。

13:00 アラ・パチス博物館



レモンのお店

- 自由行動 -
14:00 スペイン階段



15:00 ポポロ広場



15:30 カルボナーラ



午後からの自由行動では、まず堀先生おすすめの雑貨屋さんで買い物をし、スペイン階段に行きました。それからポポロ広場でジェラートやソルベを食べ、藍谷先生おすすめのお店で遅めの昼ごはんはカルボナーラを食べました。ローマはカルボナーラ発祥の地らしいです。その後、みんなで怯えながら鉄道に乗りました。

17:00 パルコ・デッラ・ムジカ音楽堂



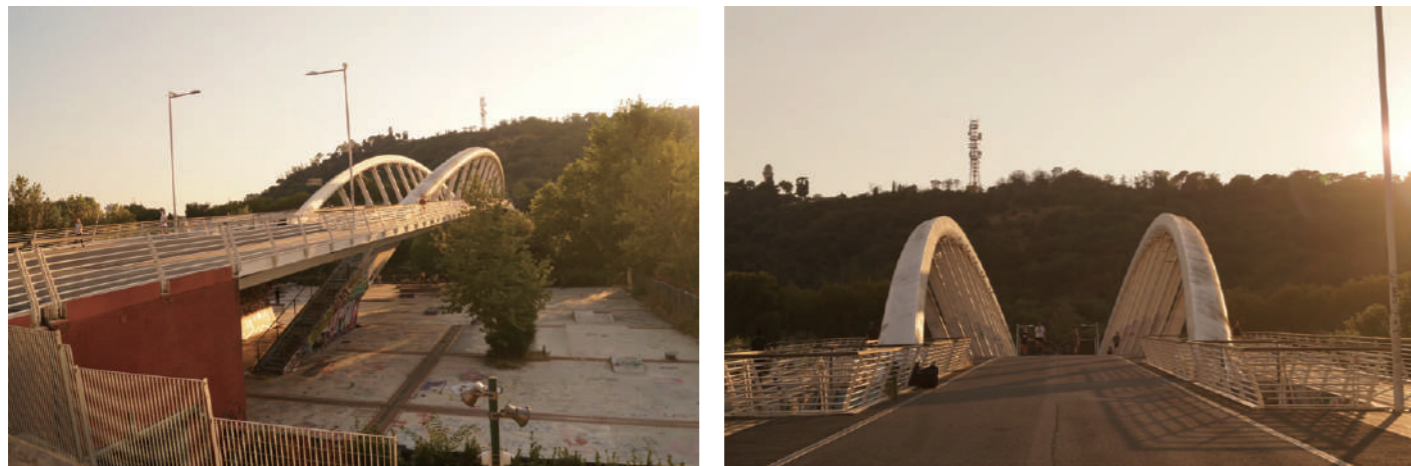
17:30 パラッツェット・デッロ・スポーツ



18:00 イタリア国立21世紀美術館 MAXXI (ザハ・ハディド)



19:00 Ponte della Musica 橋



電車を降りて、4つの建築を歩いて回りました。パルコ・デッラ・ムジカ音楽堂はレンゾ・ピアノ設計の音楽堂で、パラッツェット・デッロ・スポーツはシェル構造の体育館、MAXXIはザハ・ハディド設計の美術館です。伝統的な建物ばかりだと思っていたローマですが、現代的な建築も見ることができ大満足でした。

19:00～ 藍谷先生のナイトウォーク
サン・ピエトロ広場



日が沈んでから、藍谷先生の引率によるナイトウォークに行きました。宿を出るといつも見えていたサン・ピエトロ大聖堂ですが、夜はライトアップされ幻想的です。昼歩いていた街と同じはずなのに、夜歩くとまた雰囲気の違い、人が増えたように

感じます。お店からは机と椅子が道まで広がり、人々がワイン片手にディナーを食べ、広場ではチェロやバイオリンの演奏やオペラのような歌声が聞こえてきます。道を歩いているとついつい立ち止まってしまうような素敵な街だなと感じました。

1日目まとめ

1日目は、授業で習ったたくさんの歴史的な建築と、ローマ観光、現代的な巨匠の建築たちを回り、盛りだくさんの日でした。予想以上に歩き回り、みんなへトへトでしたが、私が知らない間に友人たちがティラミスのケーキを買いに行ってくれていて、サプライズで私の誕生日を祝ってくれました。近くのケーキ屋さんは閉まっていたようですが、店主さんのご厚意で開けてくれたそうです。知らない地で英語で冒険をしてくれた友人たちと、あたたかいローマの人たちに大きな感謝の初日でした。



8/27 ローマ建築視察②

6:30 カンピドリオの丘



2日目の朝はとても早かったです。誰もいないカンピドリオ広場の写真を撮るために、ホテルで朝ごはんを包んでもらい、宿を出ました。カンピドリオ広場はミケランジェロによるもので、目の錯覚を利用したデザインがされています。長方形に見える広場は実は台形で、円に見える広場の模様は実は楕円形です。また、地形も利用されており、広場に向かう坂道を登っていく過程では左下の写真のように抜けがなく広場もあまり見えませんが、登っていくにつれて右下の写真のように抜けを感じられます。さらに、広場に入ると右上の写真のように、ひらけているような感覚に陥ります。また、この裏には左上の写真のような遺跡があり、この近くの公園で朝食を食べました。このように至る所に遺跡があるのがローマならではの風景だなと感じます。ここでウエディングフォトを撮っている素敵な夫婦にも出会いました。

ジャイアントオーダー



カンピドリオ広場ではミケランジェロのジャイアントオーダーも見ることができました。建物全体のプロポーションに合った大きなオーダーを付け加えることで全体を統一し、綺麗にまとまっていて、ミケランジェロの凄さを感じました。

8:00 イル・ジェズ教会



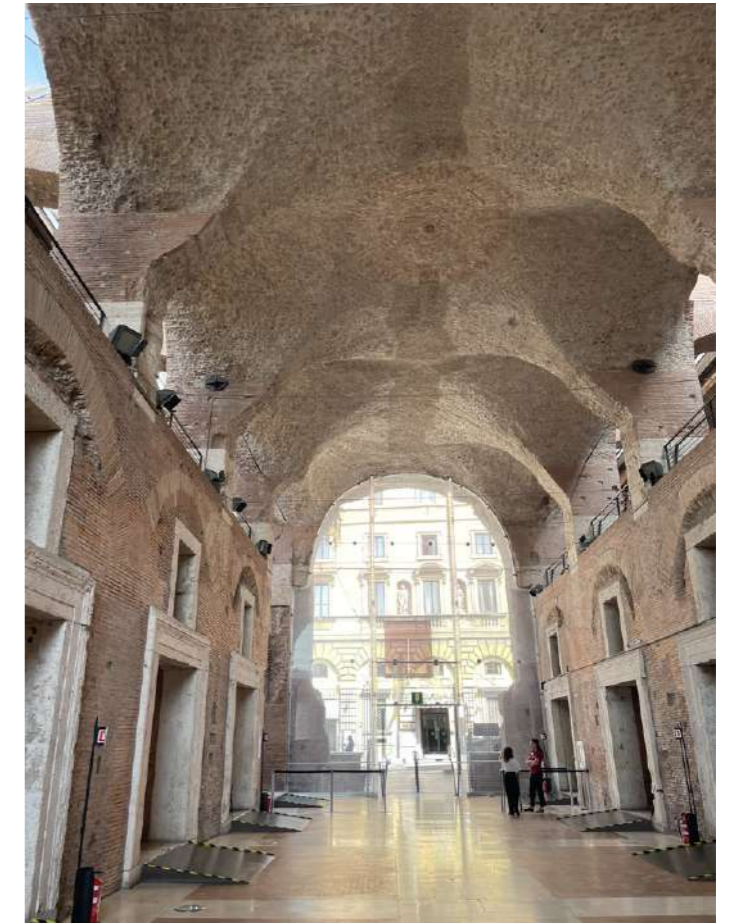
それから徒歩数分ほど歩き、イル・ジェズ教会に行きました。この教会は中の空間が印象的で、絵画と彫刻の境界が混じり合っているような、どこからが絵画でどこからが彫刻なのかが分からないような装飾でした。特に右上の写真の天井画が傑作でした。

8:30 コロッセオ



それからコロッセオに行きました。コロッセオは歩いていて遠くからも分かるくらいアイコンックで昔の人がこれほど大きなものを作り切ったことに驚きます。コロッセオは観光地としてとても有名なので、たくさんの方がいました。入るときパスポートを見せ荷物検査を通りました。まず左の写真のように中の広場に入りました。中から見ると、この建物の偉大さをより実感することができます。間違いなくローマでは必ず見ておくべき建築の一つだと感じました。

11:00 トラヤヌス帝のマーケット



その後、トラヤヌス帝のマーケットに行きました。コロッセオと同様にアーチを多用し大きな空間を作り上げています。実際のアーチを至る所に見ることができ、構造的な観点からも勉強になる見学でした。

それから、堀先生おすすめのお店にパスタを食べに行きました。アマトリチャーナやカッチョエペペ、カルボナーラなどたくさんのイタリアのパスタ料理があり、私は右の写真のアマトリチャーナを選びました。トマトのソースと濃厚なチーズの組み合わせがとても美味しかったです。それから、2日目も何度かジェラートを食べました！

12:00 パスタ



自由行動
14:30 テンピエット



午後からの自由行動ではまずバスに乗ってテンピエットに行きました。ブラマンテによる円形平面にドームを載せた建築です。裏庭のようなところにも行かせてくれ、そこから見えた景色が右の写真の景色です。日本とは全く違うローマの街並みを見下ろすことができ、感動しました。

16:00 バチカン美術館



2日目の最後はバチカン美術館に行きました。全て回ると半日ほど時間を有するようで、見たいところを重点的に回りました。システリーナ礼拝堂の最後の審判が最も印象に残りました。

2日目まとめ

2日目はスター級の建築が盛りだくさんの日でした。授業や院試で勉強していた建築を実際に見て入ることができてとても刺激的な日でした。前日の夜が遅く2日目の朝が早かったこともあり、この日は早めに休みました。

8/28 ローマ建築視察③

3日目

10:00 サン・カルロ・アッレ・クワトロ
・フォンターネ (ボッロミーニ)



3日目は、ボッロミーニのサン・カルロ・アッレ・クワトロ・フォンターネから始まりました。この日の目玉の建築だと思っています。質素な感じですが洗練されていて、彼の才能を感じました。その次に、このすぐ近くにあるベルニーニのサンタンドレア教会を見ましたが、前者に対してとても華やかでたくさん装飾が

10:30 サンタンドレア
(ベルニーニ)



してあり、お金の力を駆使しているのが伝わります。精神性を高めているのは前者、華やかで力を示しているのは後者のように感じます。背景を知り、見比べることで何も知らずに見るのとはまた違った味方ができると感じました。

11:30 トレビの泉



先生たちが公園で休んでいる間、みんなで走ってトレビの泉に行ってきました。右肩越しにコインを1枚投げると「再びローマに来られる」、2枚だと「大切な人と永遠に一緒にいられる」、3枚だと「恋人と別れる」という願いが叶うとされているそうです。各々コインを投げ、写真を撮って帰ってきました。

13:00 聖マリア大聖堂



その後、先生たちがレストランで昼食を食べている間、聖マリア大聖堂に行きました。とても大きな聖堂でした。ここにはベルニーニのお墓があると聞いていたので、みんなでお墓を探しました。上の写真が見つけたお墓です。

14:20 テルミニ駅発→16:17 フィレンツェ

3日目まとめ

3日目は、ローマからフィレンツェへの移動の日でした。最後のローマを楽しみつつ、名残惜しい気持ちもあながら、フィレンツェへの期待も込めた思いで電車に乗り込みました。ローマは最大限堪能できたと思います。

番外編
-イタリアの松-



ローマの木は日本のものとは全く違い、見慣れない形のものが多かったです。左の写真はローマの松なのですが、日本のものとは姿形が違います。始めは、この木はなんだろうと思っていたのですが、近くで見ると松の葉だったので驚きました。

ローマまとめ

ローマは、建築はもちろん素晴らしく、街もどこからともなく音楽が聞こえてくるような、とても雰囲気の良い街で、食べ物も飲み物も美味しくてまた来たいと思うような素敵な街でした。観光地でもあるのでスリなど犯罪に合わないか不安でしたが、誰もスリに合ったりせず、無事にローマを楽しむことができました。何より、堀先生と藍谷先生が同行してくださったことで、様々な知識を教えてください、そのおかげで自分たちだけで来たときとは全く違った見方をすることができました。そこがとても大きな収穫に繋がったと感じています。